

平成28年度

小・中学生フォーラム in 四谷小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

10月21日(金)、四谷小学校(四谷2丁目6、校長:持田裕代)の6年生68名が、「四谷の未来創造プロジェクト」の一環として、江戸時代に四谷地域で栽培が始まり、一度途絶えたものの近年再び栽培が行われている内藤とうがらしをテーマに、吉住健一区長と意見を交換しました。

児童たちがグループごとに、内藤とうがらしの起源や歴史、味や形の特徴など調べたことを発表し、おいしく食べるためのレシピの紹介や宣伝用ポスターなど、内藤とうがらしをアピールしていくためのアイデアを、自作のパワーポイント資料等を用いてプレゼンテーションを行いました。

区長からは、グループごとに発表への感想と、今後の活動についての励ましの言葉が贈られました。また、全体を通しての感想として「今回調べたことに加えて、自ら内藤とうがらしを栽培してみるなどの体験をすることが、周りの人に理解してもらうことの大きな手助けとなるので、次はその段階へ進んでほしい」との話がありました。

最後は、区長が児童全員から賑やかに見送られ、今回のフォーラムは幕を閉じました。

